

第38回日本血液事業学会総会
総会長 土肥博雄
(日本赤十字社中四国ブロック血液センター所長)

第38回日本血液事業学会総会会告(2)

第38回日本血液事業学会総会を下記のとおり開催いたします。会員の皆様には多数ご発表、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

〔会期〕 平成26年10月29日(水)・30日(木)・31日(金)
〔会場〕 広島国際会議場
〔テーマ〕 「明日への進化—地方からの挑戦—」
〔学会HP〕 <http://38jbp.org>

I. 特別講演

- (1) stem cell 研究の歴史
- (2) 白血病はどこまで治るのか?
- (3) 日清戦争から120年
- (4) 軟骨細胞移植—その開発から保険収載まで—

II. シンポジウム

- (1) 今日の移植医療
- (2) HLA適合血小板輸血の現状と問題点
- (3) 血液製剤の安全性担保はどこまでできたか?
- (4) 効率的な献血推進活動について
- (5) 血液センターにおける輸血検査に係る技術協力
- (6) 製造業における品質保証体制について
- (7) 輸血用血液を主とするMR活動の新たな展開
- (8) 広域的な供給体制
- (9) 看護師の人材育成

III. 教育講演

- (1) 医薬品を製造する者に求められるもの
- (2) 肝炎サーベイ
- (3) 凝固と止血
- (4) 採血副作用の防止対策の研究について
- (5) 個別NAT導入について

IV. 中四国ブロック特別企画

(1) 地域センターからの提案演題

開催テーマ「明日への進化—地方からの挑戦—」に沿って話題提供の場を設定して、一般演題の中から、「将来を担う地域センター若手職員の積極的な取り組み及び成功体験」を取り上げた特別演題枠を予定しています。

(2) ブロック血液センター所長推薦演題

第37回血液事業学会総会（北海道）に引き続き、各ブロック血液センター所長に当該ブロック演題の中から優秀演題を推薦いただき、会員交見会での表彰を予定しています。

V. 共催（ランチョン）セミナー

学会期間中のお昼の時間帯に、共催セミナーを開催します。当日の朝、1名につき1枚の整理券を配布いたします。会場に入る際整理券を提出し、お弁当をお受け取り下さい。

VI. 一般演題

口演発表またはポスター発表のいずれかといたします。なお、発表形式は変更させて頂く場合もありますのでご了承ください。

発表要項および発表日程はホームページでお知らせいたします。

・口演発表は7分、討論3分を予定しています。

・ポスター発表は、座長による掲示前での移動検討形式で行います。発表時間は4分、討論2分を予定しています。

VII. 関連行事

会員交見会

日時：平成26年10月30日（木）18:30より

場所：ANAクラウンプラザホテル広島

VIII. プログラム編集

下記の方々にプログラム委員をお願いいたしました。

伊藤 孝、碓井 達夫、河 敬世、清川 博之、高松 純樹、
高本 滋、田所 憲治、中島 一格、西本 至、南 陸彦、
土肥 博雄

（順不同、敬称・所属省略）

演題応募規程

1. 資格

- 1) 筆頭演者は、日本血液事業学会会員に限ります。ただし、共同演者はこの限りではありません。
- 2) 演題は未発表のもので一演者一題とします。
- 3) 日本赤十字社血液事業研究として採択された研究課題について演題応募される場合は、一般演題として応募してください。

2. 演題登録

演題登録は、第38回日本血液事業学会総会ホームページより UMIN を使用して行ってください。

<http://38jbp.org>

3. UMINによる登録

1) UMINによる登録

- (1) UMINオンライン演題登録システムでは、現在、Internet Explorer [Ver.6.0以上を推奨]、Safari [Ver.2.0.3 (417.9.2) 以降]、Firefox [すべてのバージョン]、Google Chrome [すべてのバージョン] 以外のブラウザでは演題登録できません。演題登録には、Internet Explorer、Safari [Ver.2.0.3 (417.9.2) 以降]、Firefox、Google Chromeにてお願いします。

(2) 演題受付期間

申込み開始 平成26年4月7日(月)

申込み締切 平成26年5月31日(土)正午まで

(3) 演題登録方法

- ・演題登録に際しては、演題申し込み画面の指示に従って、発表形式(一般演題のみ)・筆頭演者・共同演者・所属機関名・連絡先の電子メールアドレス(携帯電話のメールアドレスは不可)・演題名・抄録本文などの必要項目をすべて入力してください。なお、以下の字数制限を超過すると登録ができませんのでご注意ください。

演題名:全角50文字以内

抄録本文:全角800文字以内

総文字数「演題名・抄録本文・演者名と所属(最大20名)」全角:1,200文字以内

全角文字は1字として、半角文字は1／2文字として数えます。アルファベットの直接入力は半角英数ですので1／2文字となります。

<SUP>などのタグは文字数には換算しません。

半角カタカナや丸文字・ローマ字・特殊文字等の機種依存文字は使用できません。文字化けや変形を避ける為、特殊文字・記号・鍵括弧については、登録用ページの注意事項を厳守してください。

演題登録後しばらくして、入力していただいた電子メールアドレス宛に登録番号、演題受領通知が送信されます。演題受領通知が届かない場合は、新規演題登録が完了していないか登録した電子メールアドレスに誤りがあった可能性がありますので、下記事務局まで電子メールでお問合せください。

- ・演題登録後も締切前であれば抄録等の訂正は可能ですが、その際には登録番号およびパスワードが必要です。演題登録時に必ず控えておいてください。
- ・締め切り直前の3～4日間はアクセスが集中し回線が大変込み合う為、演題登録に支障をきたすことがありますので、余裕を持って登録を行ってください。
- ・本文は口語体・常用漢字・新仮名づかい・ひらがな混じりとしてください。
- ・文中の英語・数字・単位については、「血液事業」の投稿規程に従ってください。
- ・本文は原則として、目標・方法・結果（または成績）・結論（または考察）の順に整理して記述するようお願いします。

（4）暗号通信について

オンライン登録および修正は、原則として暗号通信の使用をお願いします。この暗号通信の使用により、第3者があなたのパスワードを盗聴して、演題・抄録を無断削除したり、改ざんしたりすることを防ぐことができます。従って、当学会では原則として暗号通信の使用を推奨します。暗号通信は登録または修正作業が終わるまで継続されます。

ただし、暗号通信が使えない場合（施設やプロバイダーの設定に問題があるか、ブラウザが古い）もありますので、その際は平文通信をご利用ください。平文通信においては、パスワード等の盗聴が可能ですから、セキュリティや個人情報の保護の点で危険です。特に病院情報システムや電子メール用に使用しているパスワードの使用は絶対に避けてください。被害が演題、抄録以外にも及ぶ可能性があります。平文通信をご利用の際は、こうした危険性を十分に考慮してください。

（5）パスワードについて

抄録を最初に登録するときに登録者本人に任意のパスワードを決めていただきます。演題登録番号、パスワードに関してのお問合せは一切応じられませんので必ずメモをとるなど保管するようしてください。演題応募時の演題登録番号とこのパスワードを用いることにより、登録後の変更が何回でも可能です。修正・確認は修正確認画面により行ってください。また、演題登録番号およびパスワードは登録演題のほか、受領確認等にも必要です。これらに関しては、セキュリティの関係から問合せには一切応じられません。

（6）演題登録に関する問い合わせ先

演題登録に関する問い合わせは、事務局まで、E-mailにてご連絡ください。

〒730-0805 広島市中区十日町1-4-19 エスパシオ十日町101
株式会社ファンプ内 演題登録事務局
TEL：082-297-5022
FAX：082-297-5023
E-mail：38jbp@wfamp.com

4. カテゴリー区分

演題カテゴリー区分は以下のとおりとします。演題登録時には最低でもカテゴリーをひとつは指定してください。

なお、演題数等により発表区分が希望と異なる場合もあり得ますことを予めご了承ください。

大区分	小区分
A 特別企画	①若手職員の積極的な取り組み及び成功体験
B 献血	①献血推進 ②広報 ③問診 ④接遇 ⑤登録 ⑥問合せ ⑦その他
C 採血	①全血採血 ②成分採血 ③採血事故 ④採血過誤 ⑤事前検査 ⑥記録 ⑦その他
D 検査	①ABO, Rh 血液型 ②その他の血液型 ③HLA ④血小板型 ⑤細菌検査 ⑥検査サービス ⑦通知 ⑧その他
E 感染症検査	①HBV ②HCV ③HIV ④HTLV- I ⑤その他ウイルス検査 ⑥NAT ⑦通知 ⑧その他
F 製剤	①調製 ②包装・表示 ③保管 ④工程管理 ⑤品質向上 ⑥その他
G 供給	①保管・運搬 ②需給予測 ③需給調整 ④記録 ⑤その他
H 学術・医薬情報	①適正使用 ②問合せ・苦情対応 ③輸血副作用 ④情報提供 ⑤医療機関との連携 ⑥合同輸血療法委員会 ⑦献血後情報 ⑧GVP ⑨その他
I GMP	①品質管理 ②製造管理 ③苦情・回収 ④教育・訓練 ⑤自己点検 ⑥査察対応 ⑦その他
J OA化	①統一システム ②イントラネット ③その他
K 分画製剤	①製造 ②供給促進 ③その他
L 技術協力	①自己血 ②洗浄血小板 ③依頼検査の対応 ④その他
M 造血幹細胞移植	①骨髄データセンター ②さい帯血 ③末梢血幹細胞 ④その他
N その他	①その他

5. 発表形式

口演発表またはポスター発表のいずれかといたします。なお、発表形式並びに一般演題からワークショップに変更させて頂く場合もありますのでご了承ください。口演はPower Point (Windows版)によるPC発表のみといたします。発表日程および発表要項は、後日ホームページでお知らせいたします。

ポスター発表は、座長による掲示前での移動討論形式で行います。

6. 演題選定

- 1) 一般演題の採否および発表形式(口演／ポスター)につきましては、プログラム委員会に一任させていただきます。
- 2) ブロックセンター所長推薦演題は、血液センター会員から演題登録された一般演題中、所属の血液センターで優秀と考えられる演題1題を各ブロック血液センター所長へ推薦していただき、各ブロック血液センター所長に自施設の優秀演題と併せて、それらの中から2～3演題を選考していただきます。その後、各ブロック血液センター所長から推薦された演題についてプログラム委員会でブロックごとに1題の優秀演題を決定させていただきます。

7. 発表演題の提出について

- 1) ブロックセンター所長推薦演題、特別講演、シンポジウムおよびワークショップ報告の司会者並びに演者は、発言内容(演題名、所属、氏名)を含めて和文3,200字以内(図表、写真等は1点400字に換算)の発表論文を総会終了後、2週間以内に総会事務局まで提出してください。
- 2) 一般演題は予め発表論文を作成する必要はありませんが、一部の演題について総会終了後、機関誌「血液事業」編集委員長から論文としての投稿推薦を当該演者あてにお願いする場合があります。